

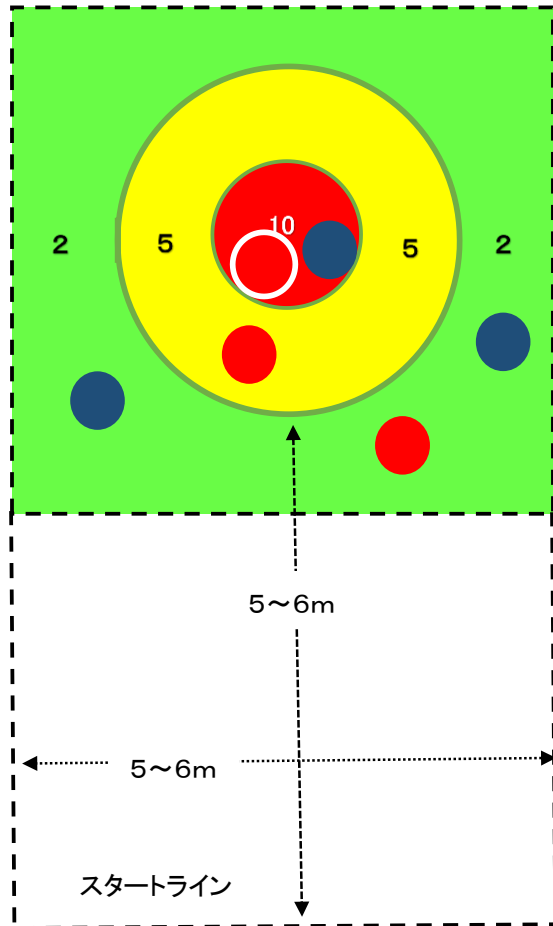
第12回奈良県障害者軽スポーツ大会グラウンドゴルフ競技規則及び注意事項

1. 個人競技とし、8ホールで行う。
2. 競技のスタートは、各チーム数によって1番ホールから8番ホールまでをスタートホールとして割り当てる。
1番ホールスタートのチームを除く、各チームは8番ホールを終了したら、1番ホールから始め、スタートしたホールの手前のホールで終了する。8ホールを回る。
(例：5番ホールスタートチームは、5番～8番→1番～4番 以上8ホールを回る。)
3. 打順はホール毎にローテーションすること。
4. 打数は、原則自己申告制なので各個人で数え、ホール毎にボランティアに申告すること。
注：ただし、自分で打数を数えることが困難な場合は、ボランティア又は介助者が数える。
(スティックボールは、原則同色を使用。マイスティック・マイボールは使用可とする)
5. 7打までの「打ち止め」ルールを適用する。※6打で「トマリ」にならない場合は、「打ち止め」し、7打でスコア記入する。
6. 第1打終了後は、原則ホールポストに遠い人から2打目を打つものとする。
7. 次ホールは、前のホールの打席の少ない人からスタートする。
8. 他人のボールに当たりそうなときは、マークしてもらう。
9. 当てたボールは、そのままゲームを続けること。ただし、当てられたボールは元の位置に戻す。
10. ボールはあるがままの状態プレーし、ポスト内に停止をもってホールインとする。
11. 第1打がホールインしたときは、そのホールは1打として、合計打数から3打引いて計算する。
12. 空振りは打数にかぞえないが、二度打ちは2回とする。
13. 玉が紛失したり、溝に落ちた場合は1打付加し、その位置からできるだけホールポストに近寄らない場所に球を置いて次の打を行う。
14. 競技スタート後は、練習してはいけない。違反したときは1打付加とする。
15. 次のホールを始めるときは、前のプレーヤー全員が終了してからプレーを行う。
16. 表彰は、8ホールをプレーして総打数の少ない人から1～3位までとする。同じ打数の場合は、最小打数の人を勝ちとする。全てが同じ場合は、年齢が高い人を上位とする。
17. ボール及びスティックが破損したときは、本部に連絡する。

【奈良県障害者スポーツ協会 ローカルルール】

◆ ターゲットボッチャルール&ゲーム方法 ◆

シート外(無得点)



赤玉チーム

青玉チーム



勝ったチーム

赤チーム
⑩
+
⑤
+
②
=
⑪

青チーム
⑩
+
②
+
②
=
⑭

負けたチーム



★. 体育館の床に敷かれた、得点シートに向って、ボールを投げ、合計得点を競う。

赤(中心)エリア=10点

黄(外円)エリア=5点

黄緑(円外)エリア=2点とする。

(シート外=無得点)

得点は、シート上のボールが止まった領域の得点の合計とする

☆1チームは6名以内とし、各チームキャプテン1名を決めておく。

なお、1ゲームは3ラウンドで構成される。

《*全員の投球が終わったら1ラウンド終了となる》

★キャプテンがジャンケンをして、勝ったチームが赤ボール、負けたチームが青ボールとする。

《*決められたラインから、得点シートに向って投げる。(5m~6m)

投球は、1人1球(6人未満のチームは、1人2球投げる人を決めておく)》

★第1ラウンドはジャンケンに勝った赤が先に投げ、2ラウンド以降は青・赤と交互に先に投げる。

《*各ラウンドの2球目からは、遠い近いに関係なく、赤・青1球ずつ交互に投げる。この時、得点をねらっても良いし、相手ボールをはじき出しても良い》★各チームの作戦である。

★得点は、シート上のボールが止まった領域の得点の合計とする。

ラウンドの勝敗は、合計得点の多い方の勝ちとする。

《*得点シート外は、無得点とする。》。

★ゲームの勝敗...ラウンドの勝敗数を比べて勝ち数の多いチームが勝ちとなる。

《注: 1勝1敗1分の場合は、総合計得点の多いチームが勝ちとなる》

そのすべてが同じ場合、各チーム代表一人ずつ投げて、高い点数になった方、同点の場合は中心に近い方が勝ち。(サドンデス)